公益社団法人 日本プロスキー教師協会 教育部 障がい者スキー委員会

SIA 障がい者スキー用具レンタルについて(通知)

記

1 用具の保管と送付

SIA 障がい者スキー用具は各ブロックに分散し保管しています。送付代金を抑えるために、なるべく使用場所に近い保管場所への引取りをお願いします。基本的に同じ保管場所への返却になります。

2 レンタル申込書

レンタルの際のトラブルを防ぐ為、申込の際は「SIA 障がい者スキー用具レンタル申込書」(別紙)に必要事項¹⁾を記載の上、協会までメール又は FAX にて送信願います。

- 1) 使用教師名には必ず、実際に障がい者スキー用具を使用して指導される「障がい者 スキー認定教師」の氏名を記載して下さい。
- ※公認スキー学校のみへの貸出となります。
- ※使用教師は「障がい者スキー認定教師」に限定しています。

3 料金

障がい者スキー用具は使用頻度や経年劣化によりパーツの交換・修理が必要です。そこで、その費用を補填するため、レンタル料金を設定しています。

※バイユニーク(アウトリガー・テザー付き)のみ各支部へ配置しております。

モノスキー・バイスキー・アウトリガー(立位)は本部までお問い合わせください。

- ・モノスキー・バイユニーク・マウンテンマン・・・1 日 5,000 円
- ・アウトリガー・・1 日 2,000 円

4 送料

送付時は着払い、返送時は元払いとなります。

自前(車での)での受け取り、返却も可能です。

5 他者との使用日の重複

使用日が他者と重複した場合には、レンタル申込書が先に協会に到達した者を優先といたします。

SIA 障がい者スキー用具 レンタル申込書 申込日: 年 月 日

公認スキー		担当者	夕	
学校名		1534	11	
	-			
送付先住所				
(送付以外				
の場合は連				
絡先を記載)	T E L :	FAX:		
	e-mail:			
使用教師名	氏名			
(数台レン	氏名	※36 期(2014.10.1~)より		
タルする場	氏名	「障がい者スキー認定教師」に		
合複数名記	氏名	限定しています。		
載)	氏名			
使用日	年 月 日~ 年 月	日		
原則、返却は使用			必着日	月日
終了の翌日に発送	(計 日間)		(使用翌日)	
	種類	数量	サイズ	備考
使用具	T / 7 +			
	モノスキー (マウトリギ - ニザ (せき)			
	(アウトリガー・テザー付き) バイスキー バイユニーク社製			
	ハイスヤー ハイユニーク社 製 (アウトリガー・テザー付き)			
	バイスキーマウンテンマン社製			
	(アウトリガー・テザー付き)			
	アウトリガー 座位用			
	アウトリガー 立位用			
	他			
備考				
通信欄				

- 記 1 レンタル料金は1点の価格は、1日5,000円(チェアスキー)
 - 2 保管場所よりの送付は着払いとし、返送は元払い
 - 3 使用日が他者と重複した場合は、申込書が先に協会に到達した者を優先する

用具利用の注意事項

1機能の確認 (受け取り時と返却時の2回)

- (1) モノスキー
 - ① リフトアップ機構
 - ② リフトアップレバー (動作・ワイヤー)
 - ③ベルト類(特に留め具)
 - ④ バケットの損傷(割れなど)
- (2) バイスキー
 - ① リフトアップ機構
 - ② リフトアップレバー (動作・ワイヤー)
 - ③ベルト類(特に留め具)
 - ④ リンク (上下動)機能
 - ⑤ バケットの損傷(割れなど)
- (3) アウトリガー
 - ① カフのベルト
 - ② フリップ部の動作
 - ③ 紐の張り(自在金にて調整の事。片結びは作らない)
 - ④ フリップスキー角度調整ボルト (特に紛失)

2注意

- (1) モノスキー・バイスキー
 - ① リフトアップポジションから滑走ポジションに戻す際にリンク機構付近に 手を入れないでください。指を挟む危険性があります。最悪の場合は切断に 至ります。
- (2) アウトリガー
 - ① フリップ部を固定 (滑走ポジション) するピンの穴に雪が詰まると固定できなくなる場合があります。

3調整(受講者に合わせる)

- (1) モノスキー
 - ① バケットの位置
 - ② フットレストの位置
 - ③ 臀部とバケットの隙間
- (2) バイスキー
 - ① 臀部とバケットの隙間
 - ② 板とフレームの位置(前後)
 - ③ フットレストの隙間
- (3) アウトリガー
 - ① グリップからカフまでの長さ
 - ② 地面からグリップまでの高さ(長さ)
 - ③ フリップ部の傾斜角度(滑走時の)

4指導(「障がい者スキー認定教師」限定)

- (1) 補助法(テザー使用、フレーム保持、身体への、声掛け)の復習
- (2) リフト乗車(禁忌事項等)の復習